

ロンドン、2015年10月19日

Primetals Technologies、中国の唐山鋼鉄集団から2基の連続亜鉛めっきラインを受注

- 連続亜鉛めっきラインで冷延ラインを拡張
- 高強度鋼板の生産能力を年間65万トン増強
- 自動車産業向けの製品を生産
- 特殊アルミニウムシリコンめっき技術も導入

Primetals Technologies は、唐山鋼鉄集団が中国の河北省唐山市に保有する第2冷延ライン拡張向けに、連続亜鉛めっきラインを2基受注しました。これにより、同社の高強度鋼板や、めっき鋼板の生産能力は年間65万トン増強され、製品は主に自動車産業向けに供給されます。投入される第5および第6連続めっきラインは、既設の冷延ライン横の新設建屋に設置。既設の圧延機も当社製であり、2015年初頭から生産を開始済み。今回導入される2基の新型連続めっきラインは、2017年に稼働開始予定で、うち1ラインは、特殊アルミニウムシリコンめっきのラインとなります。

同社は河北鋼鉄集団傘下の中国最大の鉄鋼メーカーで、2014年の年間生産量は約4700万トン。第2冷延ラインは、並列のタンデム酸洗ライン、連続焼鈍および連続亜鉛めっきラインで構成され、高強度の冷延鋼板を年間180万トン生産可能。自動車産業向けに高品質鋼も供給中ですが、受注した2基の亜鉛めっきラインは、この拡張計画の一環で、高品質鋼の生産能力増強に対応します。これらのラインでは、車両ボディー用の製品に加えて、熱間プレス用アルミニウムめっき鋼板も生産予定です。

当社はこれら設備の電気、機械およびプロセス装置のエンジニアリング、製造および供給を担当。第5めっきラインの年間処理能力は約25万トンで、厚さ0.18~1.5ミリメートル、幅850~1,300ミリメートルの冷延鋼板に対応。第6めっきラインは、厚さ0.5~3ミリメートル、幅850~1,600ミリメートルの冷延鋼板を年間40万トンめっき処理することが可能。今回新たに、冷延鋼板をアルミニウムシリコ

ン合金でめっきすることも可能となります。新しいラインは、冷間圧延工場の既存の品質管理システムに組み込まれます。当社は、ラインの組み立ておよび試運転の監督も担当します。



唐山鋼鉄集團の冷延ラインに設置されている当社製の既設めっきライン。

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL (03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の合併により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com